

ゼロカーボンミーティング in 南信州

手話通訳
付き

日程 令和4年 **11月5日(土)**
10:00~15:20

会場 **A棟2階 ホール**

コーディネーター: 田中 信一郎 氏 (千葉商科大学准教授)

午前の部

基調講演

「気候危機・エネルギー危機をめぐる最新動向 地域主体でいかに乗り越えるか」

講師: 桃井 貴子 氏 (NPO法人気候ネットワーク東京事務所長)

パネルディスカッション

「リニア開通を見据えた様々な主体の協働による エネルギーの地産地消やエネルギー自立地域づくり」

パネラー: 桃井 貴子 氏 (基調講演講師)
青山 洋子 氏 (高森町再エネ導入戦略等検討委員会委員)
下平 勝熙 氏 (飯田市竜丘地域自治会長)
吉川 琢郎 氏 (KOA株式会社 経営管理イニシアティブCSR推進センタープロフィットマネージャー)

午後の部

SDGsカフェ by 飯田市環境文化都市づくりプラットフォーム

「知る・わかる・伝えるSDGs ～若者と考える持続可能な遠山郷のミライ～」

講演: 田開 寛太郎 氏 (松本大学大学院総合経営研究科)

SDGs活動事例発表

- ◆学校編: 飯田市立飯田西中学校、飯田市立緑ヶ丘中学校、飯田女子高校、下伊那農業高校
- ◆企業編: 根羽村森林組合

参加無料

アンケートにお答えいただくと、
後日抽選で環境配慮カタログ
ギフトをプレゼント!

当日の様子は
オンライン配信でも
ご視聴いただけます。



最新の知識や先進的な取組について学び、
行動する県民の輪と、つながり、実践を一層広げ深めていくことを目指します。

出演者等の紹介

コーディネーター：田中 信一郎氏(千葉商科大学准教授)

【略歴】2008年横浜市地球温暖化対策事業本部、2009年内閣府行政刷新会議事務局、2011年内閣官房国家戦略室 長野県環境部温暖化対策課企画幹、2014年長野県企画振興部総合政策課・環境部環境エネルギー課企画幹、2016年公益財団法人自然エネルギー財団特任研究員、2017年～一般社団法人地域政策デザインオフィス代表理事、2019年～千葉商科大学 基盤教育機構 准教授、長野県環境審議会地球温暖化対策専門委員、2021年～自然エネルギー大学リーグ事務局長

午前の部

基調講演 10:00～10:50



「気候危機・エネルギー危機をめぐる最新動向 地域主体でいかに乗り越えるか」

講師：桃井 貴子氏

【プロフィール】

気候ネットワーク東京事務所長 大学在学中より環境保護活動に取り組み、卒業後は環境NGO職員、衆議院議員秘書等を経て、2008年より気候ネットワークスタッフとなり、2013年より現職。現在、エネルギー・気候変動問題を中心に取り組み、様々な団体と連携し、原発もない、温暖化もない持続可能な未来をめざし、政策提言や市民啓発など幅広く活動を展開している。

～1996年 明治学院大学社会学部卒業
～2001年 ストップ・フロン全国連絡会事務局スタッフ
～2004年 衆議院議員秘書
～2008年 全国地球温暖化防止活動推進センタースタッフ
～現在 NPO法人気候ネットワーク東京事務所スタッフ

パネルディスカッション 10:55～12:00

「リニア開通を見据えた様々な主体の協働によるエネルギーの地産地消やエネルギー自立地域づくり」

パネラー：桃井 貴子氏(基調講演講師)



青山 洋子氏

高森町再エネ導入戦略等
検討委員会委員

【略歴】

2021年9月から「高森町再エネ導入戦略等検討委員会委員」として二酸化炭素排出に伴う温室効果について、様々な問題点を検討。

【発表概略】

高森町再エネ導入戦略等検討委員会委員として会議に参加し、二酸化炭素排出に伴う温室効果について、様々な問題点を勉強してきました。高森町は「ゼロカーボンシティ宣言」をしており、先進国ではどんな取り組みをしているのか、また、どのような取り組みが必要なのかを話し合ってきました。今年7月に出来上がったアクションプランについて町民の皆さんと共有していくにはどのようなことが必要なのか、自分ではどんなことが出来るのか、などを発表します。



下平 勝熙氏

飯田市竜丘地域自治会長

【略歴】

2013年から竜丘地域自治会の竜丘公民館長を務め、2017年から竜丘地域自治会長として、持続可能なまちづくりが実現できるように尽力している。

【発表概略】

飯田市竜丘地区は、大正3年に住民出資による日本初の電気利用組合を設立するなど、地域のエネルギーを活用したまちづくりを進めてきました。その精神は地域住民に受け継がれており、竜丘公民館の屋根に太陽光発電を自治会で設置し、その売電収益の一部を地域課題の解決や環境教育に活用しながら持続可能な地域づくりを進めています。



吉川 琢郎氏

KOA株式会社
経営管理イニシアティブ
CSR推進センター
プロフィットマネージャー

【略歴】

学生時代に環境経営学・ISO14001を学び、KOA(株)に入社後は、環境マネジメントシステム「おてんとさま」の構築・社内展開に尽力。2020年からは、地域の企業19社で構成する「リサイクルシステム研究会」会長として研究会の主テーマである、「エネルギー地産地産」に取り組んでいる。

【発表概略】

当社は「2030ビジョン」を制定し、「2024中期経営計画」を発表、その中に脱炭素目標を設定し、第1のチャレンジとして、全社へのグリーン電力導入を据え、長野県内18拠点に、地域の再エネ電力増加に貢献できる電力であることから「信州グリーンでんき」を導入しました。グリーン電力のコストアップ分は省エネと太陽光など創エネでバランスを取る戦略を展開しています。導入には、KOAの創業の精神「伊那谷に太陽を」とKOAのミッション「4つの価値観と5つの主体との信頼構築」という価値観に裏付けられた事業所の責任者の強い思いもありました。

午後の部

SDGsカフェ by 飯田市環境文化都市づくりプラットフォーム 13:00～15:20

「知る・わかる・伝えるSDGs ～若者と考える持続可能な遠山郷のミライ～」

講演：田開 寛太郎氏(松本大学大学院総合経営研究科)

SDGs活動事例発表

◆学校編

飯田市立飯田西中学校

飯田西中学校3年生は、2年次の家庭科の学習で、「持続可能な社会をつくるために何が出来るのか」を大きな問いとした、探究的な学びを行いました。自分たちを取り巻く環境問題や消費行動の課題から学習をスタートし、市や県、日本・世界・地球に住む一員として、持続可能な社会を構築するために何が出来るのかを、SDGsと関連を図りながら追究した内容を紹介します。学習のまとめとして作成した「SDGsすくろく」を、環境メッセ会場内(B203会議室)に設置しますので、すくろく遊びを通して脱炭素や食品ロス削減に向け、自分にできることを考えてみてください。

飯田女子高校

「男性×スカート×ジェンダーレス社会を目指して～」をテーマに、なぜ、男性はスカート履かないのか?という素朴な疑問から、日本をはじめSDGsの17の目標の中で最も解決できていない項目「ジェンダー平等を実現しよう」に注目し、ジェンダーレスファッションの提案を通して、男性・女性という性差を大切にしつつも違いを理解し合える社会の実現を目指して探究してきたことについて紹介します。

◆企業編

根羽村森林組合

根羽村は、県内の村では初めて「SDGs未来都市」に選定されました。活動のひとつに、間伐材を天然繊維に替え、タオルやシャツを作り、木材利用の活性を促し、持続可能な循環経済を目指しています。

飯田市立緑ヶ丘中学校

緑ヶ丘中学校生徒会では、日頃の活動がSDGsの17のゴールとどのようにつながっているのかを示し、SDGsとのつながりを意識した活動を行っています。今年度した、(1)SDGsWeeks(SDGsと学校生活を関連付けて生徒会活動実施)(2)全校で語る会(プラスチックについて全校で思いを語り合う)(3)SDGs宣言(10月1日に開催した文化祭で学びの集大成として、一人一人ができることを宣言)(4)全校制作(文化祭で各学年の学級(19クラス)ごとにペットボトルキャップを用いてSDGsの17のアイコンを制作)について紹介します。

下伊那農業高校

下農SDGsプロジェクトチームの取組みについて紹介します。これからの地域を担う私たちが持続可能な社会の実現に向け仲間とともに学び、考え、実践に向けてみんなで取り組もうとスタートしました。私たちの学習(研究活動等)がこれらの実現に向けてどのようにかかわっているのかを考えてみました。

新型コロナウイルス感染症予防にご協力ください ●マスク着用 ●入場時の検温 ※高熱者(37.5℃以上)は入場不可 ●こまめな手指消毒 ●3密回避

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により内容の一部変更や、来場者の入場制限等をする場合がございます。(開催日の2週間前に実施内容の可否について判断します。)